一般財団法人　愛知県バスケットボール協会
〒460－0008 愛知県名古屋市中区栄五丁目13番21号 パネ協名古屋センタービル8階　TEL 052－253－9400　FAX 052－684－7799
AICHI BASKETBALL ASSOCIATION #8F 5-13-21, Sakae, Naka-ku, Ngoya-City, Aichi, 460-0008, JAPAN TEL +81-52-253-9400 FAX +81-52-684-7799

第12回豊田通商カップ　第4回愛知県U15バスケットボール選手権大会2022
COVID-19対策ガイドライン

大会へ出場するチーム・選手は、本大会が定める「COVID-19対策ガイドライン」の各種事項について遵守するものとし、虚偽等は一切あってはならない。また、「COVID-19対策ガイドライン」の各種事項について遵守しなかった場合、虚偽等の申告があった場合、JBA規律規程、ABA基本規程、競技会における違反行為に対する懲罰基準に則り罰則があたえられる場合がある。

1.　選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者の体調管理について

- **入場する選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者は「健康チェックシート（自己管理用）」を使用し、開催初日から遡って２週間（10月15日から）の体調管理**を行う。
  （学校・職場等で別途様式を使用している場合は兼用可とする。）
- 大会前にチーム内に陽性者、濃厚接触者が発生した場合、感染してから練習への復帰、大会参加までの日数が妥当であることを確認する。
  陽性者・濃厚接触者
  →療養解除または待機解除から段階的に１週間程度の練習に参加していることを推奨
  ※療養期間・待機期間の詳細は「愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト」を確認する。
  新型コロナウイルス感染者の療養期間
  https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/431507.pdf
  濃厚接触者の待機期間
  https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/431526.pdf
- 試合２日前（48時間前）からは症状があった場合の感染リスクが高まるため、各チームでの健康チェックを徹底する。
  ※別表を参照の上、チームの参加の可否の判断を行う。
- 選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者は**大会４日前～大会当日～大会期間中において、以下のいずれにも該当しないこと**。
  ① 37.5℃以上の発熱がある
  ② 咳（せき）、のどの痛み、などの風邪症状がある
  ③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある
  ④ 臭覚や味覚の異常がある
  ⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等がある
  ⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性者と判定された者との濃厚接触がある
  ⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる
  ⑧ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある
  ※上記に該当した際は、主催者にて大会参加資格を取り消す場合がある。
- 大会参加日以降も1週間は経過観察を行い、「健康チェックシート（自己管理用）」で選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者は体調管理を行う。1週間以内に、発熱症状が出た場合は、感染対策責任者は大会事務局へ報告する。

2.　感染対策責任者について

- チームは「感染対策責任者」を１名任命する。
  ※大会への参加２週間前～試合敗退１週間後までのチーム内の健康管理・大会事務局との連絡が必要となるため、チーム責任者の方が相応しいと考えられる。
- 感染対策責任者は日常の感染防止対策の徹底を意識し、すべてのチーム関係者に下記事項を周知し日常の感染対策意識を高めるよう努める。
  ①　マスク着用　　②　ソーシャルディスタンスの確保　③　検温等健康チェック
  ④　こまめな手洗い・手指消毒・使用したものの消毒　⑤　換気の徹底
- 感染対策責任者は本ガイドラインを確認し、**入館前に、すべてのチーム関係者にGoogleフォーム「大会当日入場者一覧（チーム用）」に必要事項を入力するよう指導する。**
  ※Googleフォーム「大会当日入場者一覧（チーム用）」は試合参加日ごとに入力する。
  ※Googleフォーム「大会当日入場者一覧（チーム用）」の入力が無いチームは試合をすることができない。
- **すべてのチーム関係者にコート上でのプレーする以外の場面では、常時マスクを着用するよう周知徹底する。**
  ※感染力の強いウイルスが増えていることから、「不織布」マスクを推奨する。
  但し、選手がプレー中にマスクを装着する場合は、熱中症・脱水症予防の観点から「布・ウレタン」マスクにするなどの配慮をする。
- 感染対策責任者はチーム関係者から集めた「健康チェックシート（自己管理用）」を大会終了後２カ月間保管し、保管期間終了後、個人情報に配慮し適切に処分する。
  （学校・職場等で別途様式を使用していて、本大会の「健康チェックシート（自己管理用）」として兼用していた場合は本人に返却する。）

3.　会場への入場制限について

- 各会場の収容人数の関係から、**本大会はチーム関係者以外の一般の観戦は許可しない。**
  ただし、**チーム関係者の入場・観戦は以下の通り認める。**
  ※チーム関係者とは、大会エントリーもれ所属選手・大会エントリー外チームスタッフ（ﾏﾈｰｼﾞｬｰ・ﾄﾚｰﾅｰ等）・選手の家族とする。
  ※チーム関係者（大会エントリーもれ所属選手）は**学年・人数を問わず入場・観戦を認める。**
  ※チーム関係者（大会エントリー外チームスタッフ（ﾏﾈｰｼﾞｬｰ・ﾄﾚｰﾅｰ等）・選手の家族）は、
  <u>大会選手エントリー人数×２</u>までの入場・観戦を認める。
  例　選手エントリー15名→チーム関係者30名程度
  　　選手エントリー6名→チーム関係者12名程度
  ※大会に複数チームでエントリーしているチームの選手は、どちらか一方のみのチーム関係者とする。
  例　U15チームの応援に、U14チームの所属選手全員が入場・観戦することは認めない。
- チーム関係者として入場・観戦できるのは、2週間前からの体調管理を実施し、試合当日にGoogleフォーム「大会当日入場者一覧（チーム用）」を入力した方のみとする。
- **入場・観戦をするチーム関係者は、館内にいる間、所属チームが判別できるものを身に着ける。**
  例　チームビブスを着用する。チーム名を書いたネームタグやタックシールに身に着ける。

4.　会場への入場時間について

- **会場への入場時間は第１ゲームのチームは９時から、第２ゲーム以降のチームは試合開始１時間前からとする。**（11月12日豊田地域文化広場のみ10時入場とする。）
- 第１試合のチームは会場設営、最終ゲームのチームは会場片付けに積極的に参加する。
- **オフィシャル、帯同審判に指定されているチームは担当試合開始30分前からの入場とする。**
- 自チームの試合前に、オフィシャル・帯同審判が指定され30分前に入場するチームは、少数で入場する。試合後にオフィシャル、帯同審判が指定されている場合は、オフィシャルクルー以外は、試合終了後、速やかに退館する。
- オフィシャルクルーは4～6名程度（オフィシャルクルー・得点板担当）のみ、コートキーパーは不要とする。
- **指定された入場時間より早く来場し、会場周辺でのウォーミングアップは禁止する。**
- **試合終了後、ベンチスタッフ・エントリー選手以外のチーム関係者は速やかに退館する。**
- 試合終了後、チームのミーティング等については会場では行わず、速やかに退館する。
  また、会場駐車場・ロータリーなどでのチームのミーティング等は禁止する。

5.　会場での対策について　※入場するすべてのチーム関係者に周知徹底してください。

- **チームで使用する消毒液（手指消毒用）・体温計を持参する。**
- ベンチの椅子は、間隔をあけて設置する。（通常、選手15、スタッフ４の19脚で設置しているものを、控え選手10、スタッフ４の14脚で設置する。）
- ベンチではマスクを着用し、声出し応援を控える。
- 交代後に、呼気の激しい選手については、呼吸を整えるためにベンチエリアをエンドライン側のソーシャルディスタンスを確保できる位置まで越境してもよい。
- 呼気が落ち着いた選手は、速やかにマスクを着用する。
- 会場内で出たごみ、アイシング用氷、飲み残しのドリンク類はすべて持ち帰る。
  ※試合中に飲んだ空きペットボトルやアイシング用氷を会場内のごみ箱や手洗い場に廃棄しない。
- 更衣を済ませてから来場するなど、更衣室の利用をなるべく避ける。
- 試合終了後更衣室を利用する場合は、チーム内で時間差を設ける、対戦チームとの同時利用を避けるなど配慮する。選手のシャワーの使用は原則禁止する。
- 試合終了後、ベンチを使用したチームが消毒を行い、感染対策責任者が最終確認をしてから退場する。ＴＯ席についてはオフィシャル担当チームで消毒を行う。
- ２試合目以降に試合があるチームは、前試合の消毒作業終了後にフロアに入場する。
- 試合中、以下の内容を厳守する。

・試合前、試合後に相手チーム、相手ベンチ、審判、オフィシャルとの挨拶・握手は実施しない。
・コート上でチームメイト、審判と会話する際にもお互いの距離について配慮する。
・試合中にコートの汗を拭くためのモップ掛けは、各チームのベンチメンバーが行う。
・円陣、ハイタッチ、抱擁を行わない。　・倒れた選手に手を貸さない。
・タオル、ボトルを共有しない。　・咳エチケットを守る。

- 観覧席はソーシャルディスタンス（最低１ｍ程度）を意識し、距離を取って使用する。
- 観覧席での、チーム関係者による声出し応援を禁止する。
- 審判のホイッスルは、電子ホイッスルの活用も認める。ホイッスルを使用する際は、ホイッスルカバーやレフェリーマスクを着用するなど、飛沫対策を講じる。

6.　大会役員・審判員（ABA 派遣審判員含む）の体調管理について

- JBA ならびに ABA 審判員のガイドラインにそって体調管理を実施する。
- 大会役員・派遣審判は Google フォーム「大会当日入場者一覧（役員・審判用）」に必要事項を入力する

7.　出場辞退チームがあった場合ならびに大会の中止の判断について

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため試合を棄権した場合は、20-0 で相手チーム勝利とする。
- 愛知県内の感染拡大の状況、愛知県内の行政による移動制限などに応じて、大会の中止や試合形式等を変更する。
  ※10 月 22 日までに、参加チームの内、男女各７チーム程度または出場チーム全体の 14 チーム程度が新型コロナウイルス感染症を理由に出場辞退を希望した場合は、大会を中止します。
- 大会中に愛知県に緊急事態宣言の発出・愛知県内感染者の急増など中止を検討しなければならない場合は、愛知県バスケットボール協会と協議の上、順位が決定していない場合でも大会を中止する場合がある。
- 大会中に参加者（選手・指導者・大会役員・その他すべての大会参加者）から陽性者が発生し、保健所の指導により陽性者行動のヒアリングから濃厚接触者の判定及び、各種消毒作業により大会運営に大きな支障を来す場合は大会を中止する。

8.　その他

- 会場内では、「３密（密接・密集・密閉）」を避けるように努める。
- 会場周辺、店舗、公共交通機関を利用する場合は、マスクの着用等、感染予防に努める。
- 大会前、大会期間中に感染者が出た場合、誹謗中傷を行うことのないよう各チームにて指導を徹底する。
- 大会の中止が決定した場合はホームページへの掲載・メールでの連絡で周知する。
  大会が開催途中で中止となった場合や参加チームが出場辞退（棄権）となった場合は、それまでに支払われた参加費の返金はしない。
- チーム責任者は、入館しない保護者の車が会場駐車場を占有しないよう周知する。

【参考】JBA バスケットボール事業・活動実施ガイドライン（手引き）第５版
http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/JBA_Guideline_5th_20220512.pdf
愛知県新型コロナウイルス感染症対策サイト（2022 年９月９日改正版）
https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/

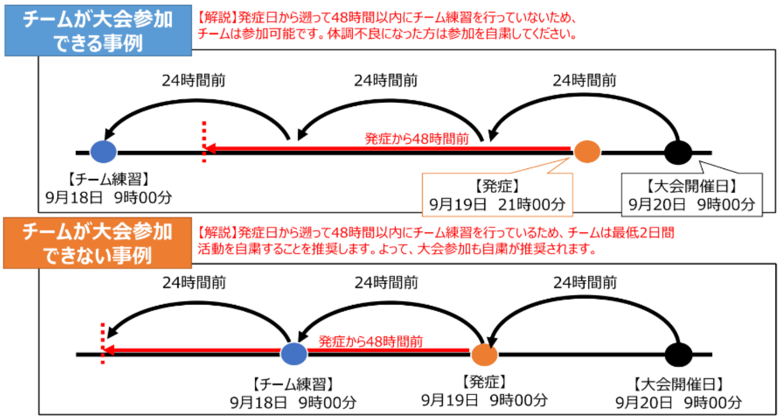
AICHI BASKETBALL ASSOCIATION
一般財団法人　愛知県バスケットボール協会
〒460−0008 愛知県名古屋市中区栄五丁目 13 番 21 号 パネ協名古屋センタービル 8 階　TEL 052−253−9400　FAX 052−684−7799
AICHI BASKETBALL ASSOCIATION #8F 5-13-21, Sakae, Naka-ku, Ngoya-City, Aichi, 460-0008, JAPAN TEL +81-52-253-9400 FAX +81-52-684-7799

【別表】

- 試合開始 48 時間前から試合当日に感染が疑われる**体調不良者（陽性者の判定が出ていない）がある場合**は、チームとしての大会参加の自粛を検討してください。

  【大会参加可否の事例①参照】

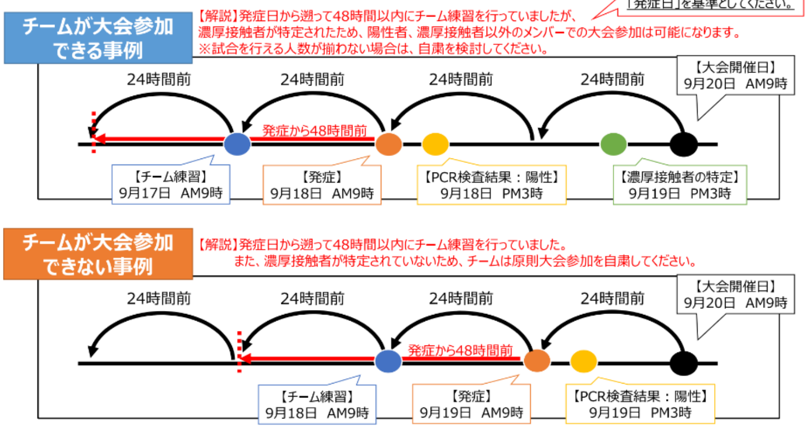
【大会参加可否の事例①　チームから体調不良者が発生した場合）】



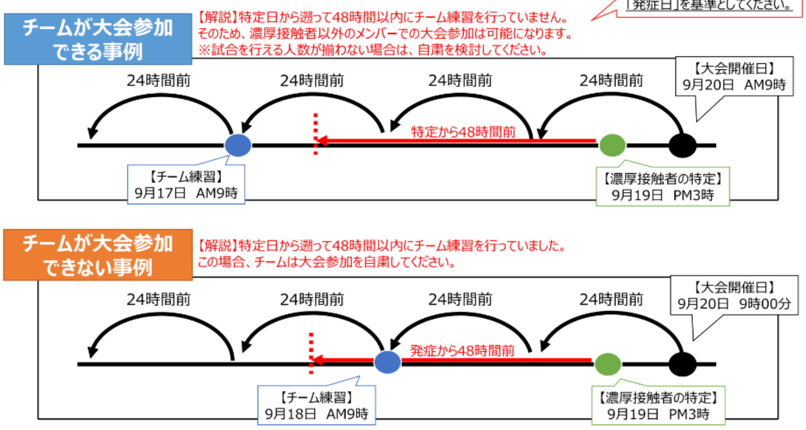
- 試合開始 48 時間前から試合当日に**陽性者が判明したチーム**は出場を辞退（棄権）していただく場合がある。ただし、チーム所在地の保健所等関係機関の指導により**「陽性者、濃厚接触者ではない」と判定された「体調が良好な者のみ」で５名揃うようであれば大会への参加を認める。**

  【大会参加可否の事例②参照】

【大会参加可否の事例②　チームから陽性者が出た場合）】



試合開始 48 時間前から試合当日に**濃厚接触者が判明したチーム**は出場を辞退（棄権）していただく場合がある。ただし、チーム所在地の保健所等関係機関の指導により**「陽性者、濃厚接触者ではない」と判定された「体調が良好な者のみ」で５名揃うようであれば大会への参加を認める。**

【大会参加可否の事例③参照】

【大会参加可否の事例③　チームから濃厚接触者が出た場合】